

令和3年度第1回 優良品種・技術評価委員会 議事概要

日時： 令和3年10月25日(月) 14:00～16:00

方法： オンライン開催(Microsoft Teams 使用)

出席した委員(五十音順、*:委員長)

石栗 太、今泉 裕治*、大森 龍一、齋藤 正、高橋 誠、蓬田 英俊

事務局

倉本 哲嗣、山野邊 太郎

議事概要

・申請のあった品種の評価について

マツノザイセンチュウ抵抗性アカマツ品種として3系統(林木育種センター関西育種場と香川県の共同申請が3系統) およびマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ品種として19系統(林木育種センターと茨城県の共同申請が1系統、林木育種センターと千葉県の共同申請が2系統、林木育種センターの申請が2系統、林木育種センター関西育種場の申請が9系統ならびに林木育種センター九州育種場の申請が5系統)の合計22系統の申請があり、これらの申請内容について検討がなされた。いずれの申請系統も品種評価基準を満たしており、申請のあったすべての系統が優良品種として評価された。

なお、委員からマツノザイセンチュウ抵抗性品種の基準を満たす抵抗性を有した系統の出現頻度が低い中、少しだけ基準に届かなかったような系統の取扱いについて質問があった。事務局からは、そのようにある程度の抵抗性が認められる系統について、有益な変異を有している育種素材として今後の品種開発に活用していきたいと考えている旨を回答した。

以上